

# 学位論文審査の要旨

学位申請者	小松 璃子 理学専攻2016年度生		論文題目	似顔絵制作支援のための 顔パーツ生成とインタフェースの提案
審査委員	主 査:	伊藤 貴之 教授	インター ネット 公表	学位論文の全文公表の可否 : 可
	副 査:	椎尾 一郎 教授		「否」の場合の理由
	副 査:	小口 正人 教授		<input type="checkbox"/> ア. 当該論文に立体形状による表現を含む
	審査委員:	小林 一郎 教授		<input type="checkbox"/> イ. 著作権や個人情報に係る制約がある
	審査委員:	萩田 真理子 教授		<input type="checkbox"/> ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている
学位名称	博士 (理学)			<input type="checkbox"/> エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている
(英語名)	(Ph. D. in Computer Science)			<input type="checkbox"/> オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている
※本学学位規則に基づく学位論文全文のインターネット公表について				

## 学位論文審査・内容の要旨

本論文では、ソーシャルメディアのアイコンなどを想定した似顔絵生成に関する2つの手法をまとめたものである。本論文では、パーツ単位のモーフィングによる似顔絵の半自動生成、似顔絵間の非類似度を意識しながら複数の似顔絵を対話的に生成するためのユーザインタフェース、の2種類の手法を提案している。

学位論文審査は4回にわたって開催された。本論文では申請者が、対話的な似顔絵生成という課題について網羅的に多くの問題を解決しており、当該分野の第一人者たる研究成果をあげたことを示している。また本論文の提案内容は、査読付き論文誌2件に掲載されるとともに、学会での多数の表彰を受けている。これらの顕著な研究成果を踏まえて、以下の日程で学位論文審査を実施した。

第1回は2021年12月17日に開催した。提出された論文の内容および問題点を洗い出し、そして第2回目以降の審査方法(申請者本人を呼び出しての審査方法)について審査委員間で合意をとった。

第2回は2022年1月6日、第3回は2022年2月9日に開催した。いずれも学位申請者による40分程度の研究内容説明の後、各種の質疑を取り交わし、論文内容の修正や改善について学位申請者に指示を出した。

そしてその後、2022年2月24日に、公開発表会および最終試験を実施した。最終試験では、公開審査会にて研究内容を聴講した審査委員および出席者から、研究内容全般にわたって幅広く質問された。学位申請者は全ての質問に対して的確に回答し、本論文の研究内容の完成度の高さおよび、本研究分野における見識の広さと深さを示した。以上の結果から審査委員は、最終試験を合格と判定した。

第4回は2022年2月24日、公開発表会および最終試験の後に開催した。公開発表会および最終試験の内容を踏まえて、論文内容を最終確認した。

以上の結果から本審査委員会は、本論文が人間文化研究科の学位、博士(理学)Ph. D. in Computer Science の学位を受けるに相応しいと判断した。